

豊川市公民館・生涯学習会館再編方針
(概要版)



© いなりん

令和2年3月

教育委員会生涯学習課

1 公民館及び生涯学習会館の現状と課題

(1) 現 状

現在市内には条例に基づき設置した公民館4館、生涯学習会館5館があります(第1表)。各施設とも市の直営管理の施設ですが、4公民館に関しては館ごとに運営委員会を設け、公民館まつり等の企画・運営にあたっています。

| No. | 施設名 | 所在地 | 構造 | 建設年度 | 施設面積 | 敷地面積 | 敷地所有者 |
|-----|-----------|-----------------|------|------|---------|---------|-----------|
| 1 | 御油公民館 | 御油町見世賜185-1 | RC2階 | 1973 | 488.13 | 1031.43 | 豊川市 |
| 2 | 牛久保公民館 | 牛久保町若子52-1 | RC3階 | 1975 | 942.49 | 1200.73 | 八幡社 |
| 3 | 豊川公民館 | 西豊町2丁目225 | RC2階 | 1976 | 913.18 | 2211 | 豊川市(学校用地) |
| 4 | 八南公民館 | 野口町縄手下23 | RC2階 | 1979 | 906.28 | 1540 | 豊川市 |
| 5 | 一宮生涯学習会館 | 上長山町小南口原1-500 | RC2階 | 1986 | 1886.12 | 2518.61 | 小南口共有林組合 |
| 6 | 音羽生涯学習会館 | 赤坂町西裏47-1 | RC2階 | 1980 | 1778.27 | 6926.25 | 豊川市 |
| 7 | 御津生涯学習会館 | 御津町西方日暮30 | RC3階 | 1974 | 1678.49 | 2218.19 | 豊川市 |
| 8 | 小坂井生涯学習会館 | 宿町光道寺40 | RC3階 | 1971 | 1812.84 | 5724.69 | 市・五社稲荷社ほか |
| 9 | プリオ生涯学習会館 | 諏訪3丁目300(プリオ4F) | RC造 | — | 843.01 | — | 市がフロア所有 |

第1表 公民館・生涯学習会館基礎データ

(2) 課 題

①地元負担軽減と責任の所在の明確化

地元選出の現在の公民館長に就任いただくと、市公民館連絡協議会、東三河公民館連合会、愛知県公民館連合会などの会合や、大会に出席いただいていた。これは館長にとって負担が大きく、その負担軽減を図る必要があります。

また、各公民館で行われる事業(公民館まつり等)において、事故等が発生した場合の責任の所在が明確でなく、地元選出の館長にその責を負わせることに関しての異論もありました。

②公民館と生涯学習会館の並存

平成18年の旧一宮町との合併の際に、文化会館を転用して新たに生涯学習会館条例を設け生涯学習施設と位置づけたため、その後の合併の際にも、地区市民館に近い性格を有する旧豊川市域の公民館と一本化を図ることができないまま、中学校区単位の社会教育施設として制度の異なる公民館と生涯学習会館が並存する状況が現在も続いています。

③施設老朽化

豊川市が保有する公民館・生涯学習会館は、昭和40年代後半～50年代に建築された建物が多く、2030年以降に一斉に耐用年数を迎えるだけでなく、一部公民館の男女共用トイレや空調機器など設備類の老朽化に対して、既に利用者から施設の改善を求める声が多く寄せられています。

④平成30年度公民館施設概況調査結果

公民館・生涯学習会館の再編方針を検討するにあたり、施設の耐震診断・エレベーターの設置の可否及び設置費用・既存不適格の存否等の概況を把握する必要があり、平成30年度に調査を行いました。

調査は2公民館(御油・牛久保公民館)の詳細調査を行った上で、その調査結果を援用し、残り2公民館(豊川・八南公民館)の所見を示しています。

・御油公民館

構造上の状況から、耐震補強を行い建物の継続利用を行ってもよいが、建物の改修費用の費用対効果、設置できるエレベーターの大きさ(2人用)、コンクリートの中性化の進行状況を踏まえ、また他の公民館と比べ小規模で機能面積も確保できていないことから、長寿命化を図る効果は低いと思われま。公民館という機能を今後も継続していく場合は、建て替えの計画を策定し、コンクリートの中性化やI s 値の状況を踏まえ、遅延のない計画遂行が必要です。



・牛久保公民館

構造上の状況から見ても、躯体の劣化はほとんど見受けられず、定期的な建物のメンテナンスを継続することで施設の継続利用は可能と考えられます。3階建ての施設のため、ユニバーサルデザインの観点からエレベーターを設置し、I s 値も0.65であるから、耐用年数80年とした長寿命化を念頭に置いて老朽化した部分を改修することで継続的な利用をすることが費用対効果は高くなります。



・豊川公民館

建物上は、外観目視では良好な状態を保っており、同一時期に建てられた建物の構造上の支障は少ないことから、同じ状況とすると耐用年数80年を目指した長寿命化を視野に入れた継続利用が可能と考えられます。ただし、エレベーター棟の増築は敷地の関係から困難と考えられます。

室内側のコンクリート中性化にも特筆すべき内容は見られず、構造体を改修しないときは老朽化した部分を改修し、継続利用をすることが費用対効果は高くなります。



・八南公民館

建物上は、外観目視では良好な状態を保っており、同一時期に建てられた建物の構造上の支障は少ないことから、同じ状況とすると耐用年数80年を目指した長寿命化を視野に入れた継続利用が可能と考えられます。ただし、エレベーター棟の増築は敷地の関係から困難と考えられます。

室内側のコンクリート中性化に若干注視すべき内容がありますが、構造体を改修しない限りは十分な耐震性能が確保されるため、老朽化した部分を改修し、継続利用をすることで費用対効果が高くなります。



2 公民館・生涯学習会館の再編にあたっての基本方針

(1) 社会教育施設の基本モデル（新築）

社会教育施設の建替え（新築）にあたっては、今後の人口減少を踏まえ、現在の利用状況や求められる役割などを勘案し、他の施設の機能との複合化を考慮しつつ、現状の公民館・生涯学習会館の施設規模等を考慮し2種類の基本モデルを設定し（第2表）、将来（2045年）の地区居住人口を目安に検討することとします。また、他施設との複合化により、共用面積の低減化に努めます。

《施設概要》

| | Aタイプ (スタンダードモデル) | Bタイプ (ラージモデル) |
|--------|---|--|
| 地区居住人口 | 18,000人未満 | 18,000人以上 |
| 機能面積 | 約400㎡ | 約550㎡ |
| 仕様 | 集会室160㎡、和室2室60㎡、 会議室70㎡、会議室30㎡、 調理室80㎡ 計6部屋、EV設置 | 集会室200㎡、和室2室80㎡、 会議室70㎡、会議室50㎡、 会議室40㎡、会議室30㎡、 調理室80㎡、計8部屋、EV設置 |

第2表 社会教育施設の基本（新築の場合）

(2) 社会教育施設の将来計画と面積削減目標

再編後の施設の位置づけについては、現状でも中央施設の機能を有するプリオ生涯学習会館を正式に豊川市全体の生涯学習センターと位置づけ、代田・金屋中学校区の地区センター機能は、当面の間、現状どおりプリオ内で確保し、両地区における地域生涯学習の推進については、地区内のあらゆる公共施設の利活用を図ることとします。そして、他の8中学校区については、当面は既存施設を生かし、それぞれの地区生涯学習センターと位置づけます。

| 地区別現状施設 | 現機能面積 | 将来機能面積 | 現施設面積 | 将来施設面積 | 再編後の施設の位置づけ |
|------------------------|----------|---------------------|--------------------|----------------------|-------------------------------|
| 【東部中学校区】 豊川公民館 | 479.93 | ラージモデル 550.00 | 913.18 | 900.00 | 地区生涯学習センター |
| 【南部中学校区】 牛久保公民館 | 488.94 | ラージモデル 550.00 | 942.49 | 900.00 | 地区生涯学習センター |
| 【中部中学校区】 八南公民館 | 459.03 | ラージモデル 550.00 | 906.28 | 900.00 | 地区生涯学習センター |
| 【西部中学校区】 御油公民館 | 267.05 | ラージモデル 550.00 | 488.13 | 900.00 | 地区生涯学習センター |
| 【代田中学校区】 プリオ生涯学習会館 | 425.70 | ラージモデル 425.70 | 843.01 | 843.01 | 市全体の生涯学習センター 兼代田地区生涯学習センター |
| 【金屋中学校区】 施設なし | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | 兼金屋地区生涯学習センター |
| 【一宮中学校区】 一宮生涯学習会館 | 761.58 | スタンダード 400.00 | ※図書館除く 1,694.69 | 650.00 | 地区生涯学習センター |
| 【音羽中学校区】 音羽生涯学習会館 | 409.00 | スタンダード 400.00 | ※図書館除く 1,052.77 | 650.00 | 地区生涯学習センター |
| 【御津中学校区】 御津生涯学習会館 | 847.25 | スタンダード 400.00 | 1,678.49 | 650.00 | 地区生涯学習センター |
| 【小坂井中学校区】 小坂井生涯学習会館 | 668.46 | ラージモデル 820.00 | ※図書館除く 1,645.57 | 1,108.00 | 地区生涯学習センター |
| 合計 (削減率) | 4,806.94 | 4,645.70 (3.4%減) | 10,164.61 | 7,501.01 (26.2%減) | ※中央施設1館(地区施設と兼) ※地区施設8館 |

※将来施設面積については、建替えの際の他施設との複合化等を想定の上、スタンダードモデルが650㎡・ラージモデルが900㎡と設定した。

※代田地区については、2045年の居住人口ではスタンダードモデルであるが、中央施設であるプリオ生涯学習会館と兼ねるためラージモデルとした。また、プリオ生涯学習会館が代田中・金屋中学校区の境界に位置することを鑑み、当面は現プリオ生涯学習会館が、代田・金屋地区の生涯学習センターを兼ねることとする。

※小坂井生涯学習会館については、将来機能面積、将来施設面積ともに令和3年春に供用開始の「小坂井地域交流会館(仮称)」のコミュニティ機能も含めた設計面積を記載している。

第3表 社会教育施設の将来計画と面積削減目標

3 再編施設の管理・運営にかかる考え方

(1) 基本方針

平成 24 年度に設置したプリオ生涯学習会館は、平成 25 年度から一般社団法人として運営されているとよかわオープンカレッジの主会場となり、全市的な生涯学習推進の中核施設として官民連携のもとに活用されています。よって、再編の際には各地区の生涯学習施設とは一線を画し、機能面からは市全体の生涯学習センターとしての位置づけを明確にしていきます。

再編にあたっては、現行の生涯学習会館条例の改正により公民館・生涯学習会館の一本化を図る予定ですが、一本化した施設の名称については、既存の公民館や生涯学習会館の名称にこだわらず、新たに名称をつける予定です。

上記を踏まえ、基本方針をまとめると以下のとおりとなります。

① 社会教育施設の条例の一本化（2021 年春の小坂井地域交流会館の供用開始に合わせ新条例制定）

- ・現状のプリオ生涯学習会館を、社会教育法に基づく市全体の生涯学習センターと位置づけます。
- ・4 公民館及びプリオ生涯学習会館以外の生涯学習会館については、社会教育法に基づく中学校区単位の社会教育施設と位置づけます。
- ・再編施設の管理運営体制：4 公民館については、現行の生涯学習会館にならない市直営に一本化します。
- ・職員体制：施設長（生涯学習課長）、主事（再任用職員）、事務パートを基本
※夜間はシルバー人材センター委託等を検討します。
- ・開館時間・休館日：午前 9 時～午後 10 時まで開館、休館日は月曜及び年末年始を基本とします。
- ・使用料等の定め：部屋の面積等に応じた新たな使用料基準を設け全館に適用
※公民館の運営委員会をなくし、協力費制度を使用料徴収に改めます。
- ・使用料減免：現行の減免制度の維持及び講座から派生したサークルの減免等を検討します。
- ・施設予約の基本：地区施設として有効活用を図るため、地域優先・各施設活動認定団体優先の施設予約制度を検討します。

② 再編後の社会教育施設名称

- ・中央施設の名称として、現在のプリオ生涯学習会館をプリオ生涯学習センターとします。また中学校区単位の地区施設については、現施設の地区名を冠し〇〇生涯学習センターとします。

(2) 各中学校区の社会教育施設の今後の方向性

東部中学校区（豊川公民館⇒豊川生涯学習センター）1977 年築

今後も東部中学校区の社会教育施設として長寿命化を図ります。今後の協議により複合化する場合は、隣接する学校施設（東部中学校）と複合化や共用化を検討します。

なお、将来的な建て替えの際には、エレベーターの設置を検討します。

中部中学校区（八南公民館⇒八南生涯学習センター）1980年築

今後も中部中学校区の社会教育施設として長寿命化を図ります。今後の協議により複合化する場合は、隣接する学校施設（八南小学校）と複合化や共用化を検討します。

なお、将来的な建て替えの際には、エレベーターの設置を検討します。

南部中学校区（牛久保公民館⇒牛久保生涯学習センター）1976年築

今後も南部中学校区の社会教育施設として長寿命化を図ります。改修にあわせてエレベーターの設置を検討します。

なお、将来的な建て替えの際には、学校施設（牛久保小学校）との複合化や、新たな場所への複合施設の整備を検討します（うしくぼ児童館など）。

西部中学校区（御油公民館⇒御油生涯学習センター）1974年築

西部中学校区の社会教育施設と位置づけます。施設概況調査の結果、長寿命化に向かないと判断されたため、現地もしくは他地点での建て替えを行います。建て替え時には隣接する御油松並木資料館等との複合化を検討します。

代田中学校区（現在、地区の社会教育施設は無し）

プリオ生涯学習会館を「プリオ生涯学習センター」と名称変更し、市の中央施設として位置づけ、「代田地区生涯学習センター」の機能を確保できるように現行どおり代田中学校区担当の生涯学習指導員を配置します。

金屋中学校区（現在、地区の社会教育施設は無し）

プリオ生涯学習会館を「プリオ生涯学習センター」と名称変更し、市の中央施設として位置づけ、「金屋地区生涯学習センター」の機能を確保できるように現行どおり金屋中学校区担当の生涯学習指導員を配置し、当面は新たな生涯学習施設は設けないこととします。

一宮中学校区（一宮生涯学習会館⇒一宮生涯学習センター）1986年築

長寿命化の検討はせず、一宮地区再編計画の中で一宮庁舎への機能集約等を検討します。

音羽中学校区（音羽生涯学習会館⇒音羽生涯学習センター）1981年築 2000年改修

急傾斜地等災害の危険がある場所に立地しており、長寿命化の検討はせず、音羽地区再編計画の中で音羽庁舎への集約化等を検討します。

御津中学校区（御津生涯学習会館⇒御津生涯学習センター）1974年築

現施設は、鉄筋腐食強度がⅡ、コンクリート中性化による劣化度がⅣである上、建築年も生涯学習会館の中では小坂井に次ぐ古い建物であり、長寿命化の検討はしません。御津地区再編計画の中で御津庁舎等への集約化等を検討します。

小坂井中学校区（小坂井生涯学習会館⇒小坂井生涯学習センター）

小坂井地区公共施設再編整備基本計画に従い、支所・生涯学習会館・図書館・児童館機能を有する小坂井地域交流会館（仮称）を整備します（2021年供用開始予定）。

(3) 現公民館の営繕計画

①公民館営繕計画（長寿命化計画）の基本方針

躯体が健全な3公民館（牛久保公民館・豊川公民館・八南公民館）については、耐用年数 60 年を 80 年程度に延長する長寿命化を念頭に置いた改修を基本方針とします。ただし、躯体が、築後 80 年まで耐震性能を保持できない御油公民館は、改築を基本方針とします。

②各公民館の営繕計画

御油公民館（御油生涯学習センター）

西部中学校区の社会教育施設としての機能を維持するため、今後 10 年以内に、西部中学校区の他の公共施設との複合化を前提として改築します。なお、改築する場所については、今後数年以内に決定します。

その後、築後 15 年を目安に日常修繕を実施し、築後 30 年を目安に大規模改修を実施します。

牛久保公民館（牛久保生涯学習センター）

南部中学校区の社会教育施設として長寿命化を図ります。築後 45 年を迎える今後 10 年以内に基本設計及び実施設計を行い、屋根、内装、屋外の劣化した部分を補修します。また、機械設備、電気設備及び消防設備の主要設備を更新します。新たに追加設備としてトイレのドライ化や男女別化、車椅子用のトイレの設置、LEDなどの高効率照明の設置、空調設備の増設及びエレベーターの設置等を実施します。その後、築後 60 年までに、牛久保小学校などの牛久保地区内の他の公共施設と複合化や共用化を前提とした改築計画を策定し、築後 80 年以内に改築します。また、築後 60 年を目安に日常修繕を実施します。

豊川公民館（豊川生涯学習センター）

東部中学校区の社会教育施設として長寿命化を図ります。築後 45 年を迎える今後 10 年以内に基本設計及び実施設計を行い、屋根、外装、内装、屋外の劣化した部分を補修します。また、機械設備、電気設備及び消防設備の主要設備を更新します。新たに追加設備としてトイレのドライ化や男女別化、車椅子用のトイレの設置、LEDなどの高効率照明の設置及び空調設備の増設等を実施します。その後、築後 60 年までに、東部中学校と複合化や共用化を前提とした改築計画を策定し、築後 80 年以内に改築します。また、築後 60 年を目安に日常修繕を実施します。

八南公民館（八南生涯学習センター）

中部中学校区の社会教育施設として長寿命化を図ります。築後 45 年を迎える今後 10 年以内に基本設計及び実施設計を行い、屋根、外装、内装、屋外の劣化した部分を補修します。また、機械設備、電気設備及び消防設備の主要設備を更新します。新たに追加設備としてトイレのドライ化や男女別化、車椅子用のトイレの設置、LEDなどの高効率照明の設置及び空調設備の増設等を実施します。築後 60 年までに、八南小学校と複合化や共用化を前提とした改築計画を策定し、築後 80 年以内に改築します。また、築後 60 年を目安に日常修繕を実施します。